

2024年度 愛知学泉大学シラバス

| シラバス番号 | 科目名 | 担当者名 | 実務経験のある教員による授業科目 | 基礎・専門別 | 単位数 | 選択・必修別 | 開講年次・時期 |
|--|-------------------------------------|--|------------------|--|-----|--------|---------|
| 330421102 | 社会科研究 Research of Social Studies | 加藤雅亮 | | | 2 | 必修 | 2前期 |
| 科目の概要 | | | | | | | |
| 小学校教諭としての専門知識・技能、児童を引き付けるノウハウを身に付けるために、小学校社会科の目的・学習内容・教師の支援およびその検討の基礎となる社会的な見方・考え方について基本的な理解を深め、それらに基づいて小学校社会科の授業の実践方法や授業の分析・検討する力を修得します（DP2）。 | | | | | | | |
| 学修内容 | | | | 到達目標 | | | |
| ① 小学校社会科の目的・学習内容・指導上の留意点およびその検討の基礎となる社会的な見方・考え方について理解する。 ② 小学校社会科の目的・学習内容・指導上の留意点およびその検討の基礎となる社会的な見方・考え方に基づいて、小学校社会科の授業を検討する。 | | | | ① 小学校社会科の目的・学習内容・指導上の留意点およびその検討の基礎となる社会的な見方・考え方について理解することができる。 ② 小学校社会科の目的・学習内容・指導上の留意点およびその検討の基礎となる社会的な見方・考え方に基づいて、小学校社会科の授業を検討することができる。 | | | |
| 学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素 | | 学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例 | | | | | |
| 前に踏み出す力 | 主体性 | グループでの話し合いに積極的に参加しようとしたり、全体での質疑応答などの場面で自分の疑問点や意見を述べたりすることができる。 | | | | | |
| | 働きかけ力 | | | | | | |
| | 実行力 | 必要な情報や知識を自ら集め、それを学修にいかすことができる。 | | | | | |
| 考え抜く力 | 課題発見力 | 自分なりに課題を設定して、学習指導要領や実践事例を分析することができる。 | | | | | |
| | 計画力 | | | | | | |
| | 創造力 | 楽しい模擬授業を創りあげるために、自分なりの工夫を考えることができる。 | | | | | |
| チームで働く力 | 発信力 | グループでの話し合いや全体での発表の場面で自分の考えを表現することができる。 | | | | | |
| | 傾聴力 | グループでの話し合いの場面で他のメンバーの考えを聞いて、自分の考えの練り上げに活かすことができる。 | | | | | |
| | 柔軟性 | | | | | | |
| | 状況把握力 | | | | | | |
| | 規律性 | 学修上のルールを守って行動したり、学修課題に沿ってグループで話し合ったりすることができる。 | | | | | |
| | ストレスコントロール力 | | | | | | |
| テキスト及び参考文献 | | | | | | | |
| 小学校学習指導要領 総則および社会科（平成29年3月告示）文部科学省HPよりダウンロード可能。 東京書籍（2023）『新しい社会5上』 その他の学年の社会科単元については、教官より必要に応じて資料を提示する。 | | | | | | | |
| 他科目との関連、資格との関連 | | | | | | | |
| 3年時に履修する社会科教育法の基礎となる科目である。そこで、小学校社会科を実践するうえで必要となる現行の小学校社会科の学習指導要領の内容を検討・学修を行う。また、実際の模擬授業を体験して実際の社会科の授業を理解する。さらに、実際の教科書の内容から、指導案を作成する学修を行い、社会科教育法の模擬授業者として授業を行うことができるように配慮していく予定である。小学校教諭免許取得に際し必修である。 | | | | | | | |
| 学修上の助言 | | | | 受講生とのルール | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> 講義や活動の中で疑問をもったことがあれば積極的に質問をすること。 模擬授業の場面や教官の発問に対して、自分の考えを積極的に発言すること。 社会科のみならず小学校の授業や学級経営そのものについて講義で言及する予定である。教育実習に直接役立つとの心構えで受講すること。 | | | | <ul style="list-style-type: none"> 私語など周囲にとって迷惑となる行動は慎むこと。 携帯やスマートフォンは、使用するよう指示がある場合を除いて、電源を切るかマナーモードにして、かばんの中に入れておくこと。 教官の指定する座席に着席すること。 レポート等で何かを参考にしたり文章を引用したりした場合は、必ずそれがわかるようにし、出典を記載すること。 | | | |

【評価方法】

| 評価対象 | 評価方法 | | 評価の割合 | 到達目標 | | | | 各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント | |
|--------|-----------------------|--------------------|-------|------|---|--|--|---------------------------------|--|
| 学修成果 | 学期末試験 | 筆記（レポート含む）・実技・口頭試験 | 0 | ① | | | | | |
| | | | | ② | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | 小テスト | | 0 | ① | | | | | |
| | | | | ② | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | 平常評価 | レポート | 90 | ① | ✓ | | | | <ul style="list-style-type: none"> ・小学校学習指導要領および小学校社会科の模擬授業に関し、毎時間所感を書くことを通して、自分なりの分析を行うことができる。（5点×14回） ・小学校5年生の社会科教科書を読み、教材研究を行って1時間の指導案（本時案）を書くことができる。（20点×1回） |
| | | | | ② | ✓ | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| 平常評価 | 成果発表（プレゼンテーション・作品制作等） | 0 | ① | | | | | | |
| | | | ② | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| 学修行動 | 社会人基礎力（学修態度） | 10 | ① | ✓ | | | <ul style="list-style-type: none"> 【主体性】グループでの話し合いに積極的に参加しようとしたり、全体での質疑応答などの場面で自分の疑問点や意見を述べたりすることができる。 【課題発見力】自分なりに課題を設定して、学習指導要領や実践事例を分析することができる。 【発信力】グループでの話し合いや全体での発表の場面で自分の考えを表現することができる。 【傾聴力】グループでの話し合いや全体での発表の場面で他の学生の考えを聞いて、自分の考えの練り上げに活かすことができる。 【規律性】学修上のルールを守って行動したり、学修課題に沿ってグループで話し合ったりすることができる。 | | |
| | | | ② | ✓ | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| 総合評価割合 | | | 100 | | | | | | |

【到達目標の基準】

| 到達レベルS(秀)及びA(優)の基準 | 到達レベルB(良)及びC(可)の基準 |
|---|---|
| ①小学校社会科の目的・学習内容・教師の支援とその検討の基礎となる社会的な見方・考え方を関連付けて実践レベルで理解することができる。 ②小学校社会科の目的・学習内容・教師の支援とその検討の基礎となる社会的な見方・考え方を関連付けて、小学校社会科の授業を計画・表現することができる。 | ①小学校社会科の目的・学習内容・教師の支援とその検討の基礎となる社会的な見方・考え方について理解することができる。 ②小学校社会科の目的・学習内容・教師の支援とその検討の基礎となる社会的な見方・考え方について、小学校社会科の授業を計画・表現することができる。 |

| 週 | 学修内容 | 授業の実施方法 | 到達レベルC(可)の基準 | 予習・復習 | 時間(分) | 能力名 |
|---|--|--|---|--|-------|--------------------------|
| 1 | オリエンテーション(授業の概要・計画および評価について) これまで受けてきた社会科の授業はどのようなものだったか、振り返り発表する。 社会科における学習目的・学習内容(社会的な見方・考え方も含む)・学習方法の関連性について概観する。 | 講義 ディスカッション グループワーク | 社会科における学習目的・学習内容・学習方法の関連性について理解することができる。 | (予習) これまで受けてきた小学校社会科の授業でどのようなことを学んだのか、その目的は何だったのかを振り返る。 (復習) 授業を振り返り、この時点での小学校社会科の授業のイメージを文章化する。また、津田塾大学ライティングセンターの「レポートの書き方」を参照し、今後のレポートの書き方について学ぶ。 https://twc.tsuda.ac.jp/news/202007/2020070800000455.html | 180 | 主体性 発信力 傾聴力 規律性 |
| 2 | 小学校学習指導要領総則を読んで、その趣旨を理解する。 | 講義 ディスカッション グループワーク (2週目以降、google forms や google classroom を用いての授業やフィードバックをすることもある) | 小学校学習指導要領総則がめざす小学校の授業のあるべき姿をイメージすることができる。 | (予習) 小学校学習指導要領総則を一通り読んで、キーワードを書く。 (復習) 総則を読み直し、授業で明らかになったポイントを振り返る中で、総則の全体像を自分なりにとらえ直すことができる。 | 180 | 主体性 発信力 傾聴力 規律性 |
| 3 | 小学校学習指導要領社会科3年生を読み、目標・内容・内容の取扱いについて理解する。 | 講義 ディスカッション グループワーク | 小学校学習指導要領3年生社会科の目標・内容について理解することができる。 | (予習) 小学校学習指導要領社会科3年生を読んで、キーワードを書く。 (復習) 3年生社会科の内容を読み直し、社会科の授業をイメージしながら特定の単元の指導構想を書いてみる。 | 180 | 主体性 発信力 傾聴力 規律性 |
| 4 | 小学校学習指導要領社会科4年生を読み、目標・内容・内容の取扱いについて理解する。 | 講義 ディスカッション グループワーク | 小学校学習指導要領4年生社会科の目標・内容について理解することができる。 | (予習) 小学校学習指導要領社会科4年生を読んで、キーワードを書く。 (復習) 4年生社会科の内容を読み直し、社会科の授業をイメージしながら特定の単元の指導構想を書いてみる。 | 180 | 主体性 発信力 傾聴力 規律性 |
| 5 | 小学校学習指導要領社会科5年生を読み、目標・内容・内容の取扱いについて理解する。 | 講義 ディスカッション グループワーク | 小学校学習指導要領5年生社会科の目標・内容について理解することができる。 | (予習) 小学校学習指導要領社会科5年生を読んで、キーワードを書く。 (復習) 5年生社会科の内容を読み直し、社会科の授業をイメージしながら特定の単元の指導構想を書いてみる。 | 180 | 主体性 発信力 傾聴力 規律性 |
| 6 | 小学校学習指導要領社会科6年生を読み、目標・内容・内容の取扱いについて理解する。 | 講義 ディスカッション グループワーク | 小学校学習指導要領6年生社会科の目標・内容について理解することができる。 | (予習) 小学校学習指導要領社会科6年生を読んで、キーワードを書く。 (復習) 6年生社会科の内容を読み直し、社会科の授業をイメージしながら特定の単元の指導構想を書いてみる。 | 18 | 主体性 発信力 傾聴力 規律性 |
| 7 | 校外学習の指導および社会科教材研究の方法について理解する。 | 講義 ディスカッション グループワーク | 校外学習の指導および社会科教材研究の方法について概略を理解できる。 | (予習) 事前配布する資料を読み、キーワードを書く。 (復習) 校外学習の指導および社会科教材研究の方法について、そのまとめを800字程度で文章化してまとめ。 | 180 | 主体性 発信力 傾聴力 規律性 |
| 8 | 社会科の指導案の書き方について理解する。 | 講義 ディスカッション グループワーク | 社会科学習指導案の書き方について理解できる。 | (予習) 事前配布する資料を読み、キーワードを書く。 (復習) 教官の模範授業を振り返り、自分なりの工夫を付け加えて、再度指導案を立てる。 | 180 | 主体性 発信力 傾聴力 規律性 |

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

| 週 | 学修内容 | 授業の実施方法 | 到達レベルC(可)の基準 | 予習・復習 | 時間(分) | 能力名 |
|----|--|--|--|---|-------|--|
| 9 | 小学校3年生「市のようす」または「くらしを守る」の模擬授業に参加した後、その教材研究の講義を聞く。 | 講義 ディスカッション グループワーク | 模擬授業に参加し、教材研究の方法を理解できる。 | (予習) 事前配布する資料を読み、板書計画を書く。 (復習) 本日の模擬授業実践を振り返り、授業のポイントや学んだことを文章にまとめる。 | 180 | 主体性 発信力 傾聴力 規律性 |
| 10 | 小学校4年生「日本の都道府県」または「わたしたちの県」の模擬授業に参加した後、その教材研究の講義を聞く。 | 講義 ディスカッション グループワーク | 模擬授業に参加し、教材研究の方法を理解できる。 | (予習) 事前配布する資料を読み、板書計画を書く。 (復習) 本日の模擬授業実践を振り返り、授業のポイントや学んだことを文章にまとめる。 | 180 | 主体性 発信力 傾聴力 規律性 |
| 11 | 小学校6年生政治分野「わたしたちの生活と政治」または「世界の中の日本」の模擬授業に参加した後、その教材研究の講義を聞く。 | 講義 ディスカッション グループワーク | 模擬授業に参加し、教材研究の方法を理解できる。 | (予習) 事前配布する資料を読み、板書計画を書く。 (復習) 本日の模擬授業実践を振り返り、授業のポイントや学んだことを文章にまとめる。 | 180 | 主体性 発信力 傾聴力 規律性 |
| 12 | 小学校6年生歴史分野「縄文のむらから古墳のくにへ」または「今に伝わる室町文化」の模擬授業に参加した後、その教材研究の講義を聞く。 | 講義 ディスカッション グループワーク | 模擬授業に参加し、教材研究の方法を理解できる。 | (予習) 事前配布する資料を読み、板書計画を書く。 (復習) 本日の模擬授業実践を振り返り、授業のポイントや学んだことを文章にまとめる。 | 180 | 主体性 発信力 傾聴力 規律性 |
| 13 | 小学校5年生地理分野の模擬授業(雨温図の読み取り)の模擬授業に参加した後、その本時案を検討する。 | 講義 ディスカッション グループワーク 実習 フィードバック | 模擬授業に参加し、本時案を完成させることができる。各自が作成した本時案を4人グループで輪読し、批判的に討議して、授業と指導案のつながりや工夫を話し合う。 | (予習) 該当する教科書の頁を読み、本時案と板書計画を書く。 (復習) 本時の模擬授業を基に、自分が書いた本時案を改善し、完成させる。 | 180 | 主体性 発信力 傾聴力 規律性 |
| 14 | 小学校5年生地理分野のある単元の本時の指導案を読んだ後、自分が作成してきた本時の指導案をグループで検討し修正する。 | 講義 ディスカッション グループワーク 実習 フィードバック | 本時案を完成させることができる。各自が作成した本時案を4人グループで輪読し、批判的に討議して、授業と指導案のつながりや工夫を話し合う。 | (予習) 該当する教科書の頁を読み、本時案と板書計画を書く。 (復習) 本時の模擬授業を基に、自分が書いた本時案を改善・完成させ、提出する。 | 180 | 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性 |
| 15 | 自分の設定した学年・単元の授業の導入を考え、3分以内で模擬授業を行う。 | オンデマンド配信 発表 フィードバック | 意図をもって児童を引き付ける導入を行うことができる。また、他の授業者に対して、建設的なアドバイスをすることができる。 | (予習) 授業の導入を行うために自分の設定する学年・単元を考え、児童を引き付けるための具体的な「もの」を用意する。 (復習) 前期を通して学んだことをまとめ、提出する。 | 180 | 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性 |

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力